

# 楠の子



佐賀県立中原特別支援学校「学校新聞」

第 7 号

令和元年12月20日発行（総務・広報部）

## 「幻に終わった路線～佐賀久留米線」 事務長 森園 明広

長崎本線の鉄道がみやき町北部を通っていますが、遡ること約1世紀前に佐賀から蓮池、江見、豆津を結んで久留米に至る鉄道路線が計画されたことがありました。

大正5（1916）年12月に、佐賀～久留米両間の最短交通機関を設置する目的で、佐賀市長・野口能毅、古賀製次郎、眞崎悟一など地元有力者が発起人となり神戸の鈴木商店の参画を得て「肥筑軌道（株）」が軽便鉄道として設立されました。

大正12年（1923年）5月には高尾（佐賀市巨勢町）から崎村（神崎市千代田町）間6.6km、停留所8か所、全線単線により部分開業しましたが、第一次世界大戦後の不況により崎村から久留米までの計画は頓挫しました。

その後、当初計画路線の両端を欠いた上、国鉄路線に接続しない孤立路線となったことや沿線のほとんどが田園地帯のため収益が上がらず、昭和9（1934）年に運行が休止し、昭和10（1935）年には廃止されました。現在軌道の痕跡はほとんど残っておらず、城原川下流付近に橋脚基礎跡の一部が干潮時に見ることができる程度となっています。鉄道としては極めて短命となって残念でありませんが、「もし全線が開通していたら、今と違った佐賀平野の風景・構図が・・・」という想像したくなりました。



## 「C 課程 2 年生によるクリスマスパーティー」（本校舎高等部）

12月16日、生活単元学習の時間でカップデザートを作りました。班ごとにホットケーキ・シュークリーム・ゼリーで土台を作り、果物やお菓子をトッピングしました。仕上げに生クリームやチョコレートソース、カラフルミックスプレーなども加え、オリジナルのカップデザートができました。次回は、デコレーションケーキに挑戦します。



## 「令和元年度中学部現場実習&職場体験」（本校舎中学部）

12月2日～12月6日の5日間にAB課程の2年生と3年生、そしてCDF課程の3年生が現場実習・職場体験に行きました。普段の作業学習や事前学習で学んだことを生かして、それぞれの実習先で職場の方と協力をして、働くことについて学ぶことができました。



## 「楽しかった秋の遠足」(本校舎小学部)

“すまいる”が素敵な小学部 C 課程の 4 年生です。11 月 14 日(木)は秋の遠足で、青少年科学館と鳥類センターへ行きました。青少年科学館では、ピタゴラ装置の玉を動かして遊ぶなど、子供達は夢中でいろいろな科学の不思議体験をしていました。鳥類センターでは観覧車やメリーゴーランドに乗ったり、動物を見たりして楽しみました。大好きなお弁当やおやつも食べて大満足の日となりました。



## 「ふれあい会をしたよ♪」(鳥栖田代分校)

12月10日(火)に、田代小学校の特別支援学級の友達や民児協の方々とのふれあい会を行いました。中学部の太鼓の演奏、小学部のパプリカダンス、民児協の方々のマジックや踊りなどそれぞれが出し物をしました。グループにわかれ、「エビカニ音頭」を踊ったり、「なべなべそこぬけ」をしたり、綱引きをしたり、楽しく遊びました。遊んだ後は、グループごとに話をしながらお菓子を食ったり、ジュースを飲んだり、笑顔いっぱいのふれあい会になりました。



## 「日曜参観日、PTA 懇談会」(分校舎)

11月10日(日)、授業参観と懇談会を行い多くのご家族の方々に来ていただきました。授業の中でいろいろな話をしたり、写真や動画を交えてじっくりと懇談したりすることができました。現状を共通理解し、将来について一緒に考える良い機会となりました。10月に開催された PTA 研修会における芸術鑑賞会の様子も映像で紹介しました。



## 「絶好のバルーン日和♪」(本校舎 P T A)

11月30日(土)にバルーン係留体験搭乗を行いました。参加者は50名を超えました。澄んだ秋空の下、ゆっくりと上昇する気球に乗っている子どもたちが、地上で見守っている大人や友達に手を振る姿が印象的でした。

